

プレマ株式会社様

「白菊の線香」を  
ウガンダの元・子ども兵に届けました。  
ありがとうございました。



(特活)テラ・ルネッサンスは、ウガンダ北部において元・子ども兵社会復帰支援施設「スマイル・ハウス」を運営し、ウガンダ北部の元・子ども兵を対象に基礎教育、職業訓練を行っています。

ウガンダ北部では、20年にわたる紛争の影響で、現在も多くの人々が貧困状態にあります。このような状況の中、蚊を媒介して感染するマラリアという病気が蔓延しています。元・子ども兵らも子どもをマラリアで亡くすなど、被害に遭っています。

このたび、プレマ株式会社様からご寄付いただいた「白菊の線香」を「スマイル・ハウス」で学んでいる元・子ども兵に届けました。

蚊取り線香の贈呈は、使用方法とともに、マラリア予防や健康管理の大切さを啓発するよい機会となりました。化学薬品を使用していない蚊取り線香であることを説明すると、元・子ども兵らは興味津々に聞き入っていました。



かとり線香を受け取る元・子ども兵

若い子どもを抱える元・子ども兵は、自分の子どもをマラリアに感染させてしまったり、それによって亡くしてしまうケースも少なくありません。例え、大事に至らなくても、マラリアの治療にかかる費用は元・子ども兵らにとって決して安くはありません。そのため、マラリア予防をすること、そして、そのための啓発を行うことがとても重要なのです。

今回、「白菊の線香」を受け取ったスマイル・ハウス第1期生のアチャン・ジャックリンさんも先日、自分の子どもがマラリアにかかってしまいました。まだ1歳の彼は、体が弱くこれまでに何度もマラリアなどの病気になっているようです。幸い大事には至っていませんが、子どもが病気になってしまうと、治療費もかかる上、看病のために職業訓練も休まなければなりません。



アチャン・ジャックリンさんの子ども



かとり線香を受け取るアチャン・ジャックリンさん

蚊取り線香を受け取ったアチャン・ジャックリンさんは、「これからは、自分と子どもの健康管理にも気をつけたい」と語っていました。